

2014 年度 研究所・センター事業報告書

研究所・センター名	アート・リサーチセンター
研究所・センター長名	矢野 桂司

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2014 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうだけでわかりやすく記述してください。

2014 年度、アート・リサーチセンター(以下、ARC)は、今後の活動の柱として以下の 3 プロジェクトを選定し、集中的に取り組んだ。この 3 プロジェクトは、集中的に重点化する研究分野やプロジェクトとして研究所総合計画(5 ヵ年)に挙げたものに該当し、それぞれが学際的かつ有機的に連携し、本センターの研究活動を発展させるとともに国際化を推進した。また ARC を中心とした GCOE プログラム(2007-2011 年度、事後評価 A)の研究蓄積や体制を基盤とする本学文学研究科「文化情報学専修」が設置された他(4 月)、文部科学省共同利用共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」採択(4 月)、平成 27 年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「日本文化資源のグローバルアクション」申請(2015 年 6 月採否判明)など、本学の教育・研究拠点機能を充実・発展させることをも企図した。以下、各プロジェクトについて具体的に記述する。

プロジェクト No.1: デジタル・ミュージアム研究開発プロジェクト

プロジェクト No.1 は萌芽的プロジェクトとして選定した。本プロジェクトは、様々なデジタル・コンテンツやデジタル技術を活用し、国内外の博物館や地域と連携しつつ、文理連携でデジタル・ミュージアム(DM)を展開した。当年度は (1)大船鉾(2014 年度復興)の CG 作製および三条通の山鉾巡行(復興未)のアニメーション構築等による祇園祭 DM 展示(於:京都文化博物館)、(2)京都文化博物館所蔵『誓願時門前図屏風』の高精細画像を用いた風俗画プロジェクト、(3)「近藤豊写真資料」データベースの試験公開、近代の京都市都市計画図 GIS・京都市明細図 GIS を用いた共同研究(京都府立大学と共同)、京町家 GIS を活用した空き家調査(京都市と共同)、バーチャル平安京の高度化(京都アスニーと共同)による歴史都市京都の地理空間情報の公開、(4)文化情報学専修インターンシップによる長江家住宅(京都市指定有形文化財)のデジタル展示、の 4 点を実施した。

プロジェクト No.2: ホワイトスペースを活用した文化コンテンツの放送 ー通信連携型ハイブリッド・プラットフォーム

プロジェクト No.2 は先端的プロジェクトとして選定した。本プロジェクトでは、昨年度までの到達状況を踏まえ、以下 2 点を推進した。(1)総務省の新制度「エリア放送」の免許取得に向け、制度的な運営を担保するためのノウハウをヒアリング調査(関西テレビと連携)、その結果の実証を兼ね、同社と共同で「万博エリア放送」に参画し、「ネオ街頭テレビ」へのコンテンツ供給の準備を開始した。また、ARC 内のワンセグ放送について、衣笠キャンパス在学生に対する視聴可能率の大規模調査を行い、チューナー搭載端末の保有率の低さ、想定外の端末数減少スピードを把握することができた。(2)ARC の日本文化デジタル・アーカイブと連動し、多色摺木版画の仮想展示とワンセグ用映像制作、京友禅の制作過程映像をワンセグ用コンテンツとして再制作、80 年前の豊郷小学校旧校舎映像を活用した地域振興向けコンテンツの制作と一部公開を行った。さらに仮想・実空間展示のハイブリッド・プラットフォーム環境実空間展示間の標準的なリンクタグについて基本設計を行った。

プロジェクト No.3: 表象研究におけるデジタル資源活用のための応用手法開発

プロジェクト No.3 は、潜在力掘り起し型プロジェクトとして選定した。本プロジェクトのデジタル・アーカイブ構築技術とイメージデータベース開発技術を継続的に深化させ、研究資源のさらなる蓄積を進めることにより、本学の教育・研究のイノベーションを引き起す応用研究を行うものである。当年度は、(1)ライデン博物館(オランダ)、メトロポリタン美術館(アメリカ)をはじめとする海外諸機関所蔵資料のデジタル化実施(計:7 コレクション)、(2)研究者向けインターフェイス開発を中心とする DB システム・機能の修正・強化とデータ蓄積手法の開発、(3) DB の公開レベルに従ったシステム運用の 3 元化(一般公開・一般公開ポータル・パスワード付ポータル)、(4)「イメージ DB」「Wiki 型」「SNS 型」「テキスト・アーカイブ」を基盤 DB とする文系研究者向け汎用 DB 連携モデル構築、(5) CT スキャン技術の調査による、3 次元データを用いた文化財 DB の開発開始、(6)イメージマッチングシステム等の新技術を応用した新検索システムの開発およびリンク・オープンデータ化による各種 ARC 公開 DB の横断検索システム(β 版)開発、の 6 点を推進した。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2015年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	矢野 桂司	文学部	教授
運営委員	赤間 亮	文学部	教授
	稲葉 光行	政策科学部	教授
	木立 雅朗	文学部	教授
	田中 覚	情報理工学部	教授
	田中 弘美	情報理工学部	教授
	富田 美香	映像学部	教授
	細井 浩一	映像学部	教授
	前田 亮	情報理工学部	教授
	湯浅 俊彦	文学部	教授
	八村 広三郎	情報理工学部	特任教授
	鈴木 桂子	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(教授)
	金子 貴昭	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員(准教授)
所属教員(運営委員以外)	河角 龍典	文学部	教授
	中谷 友樹	文学部	教授
	西浦 敬信	情報理工学部	教授
	矢野 健一	文学部	教授
	THAWONMAS Ruck	情報理工学部	教授
	古川 耕平	映像学部	准教授
	川嶋 将生	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)
	高野 明彦	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)
	原島 博	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)
	金田 章裕	衣笠総合研究機構	招聘研究教員(教授)
	長谷川 恭子	情報理工学部	助教
	脇田 航	情報理工学部	助教
李 亮	情報理工学部	講師	
学内の若手研究者 専門研究員・研究員	石上 阿希	衣笠総合研究機構	専門研究員
	加茂 瑞穂	衣笠総合研究機構	専門研究員
	木村 文則	衣笠総合研究機構	専門研究員
	斎藤 進也	R-GIRO	専門研究員
	徳永 留美	R-GIRO	専門研究員
	福田 一史	R-GIRO	専門研究員
	前崎 信也	衣笠総合研究機構	専門研究員
	松葉 涼子	衣笠総合研究機構	専門研究員
	BATJARGAL Biligsaikhan	衣笠総合研究機構	専門研究員
	山路 正憲	衣笠総合研究機構	研究員

学振特別研究員 (PD・RPD)	山本 真紗子	学振特別研究員	PD	
	補助研究員・リサーチアシ スタント	川内 有子	衣笠総合研究機構	リサーチアシスタ ント
	博士後期課程院生・一貫 制博士課程 3 回生以上 在籍院生	齊藤 ちせ	文学研究科	D6
		高橋 伸城	文学研究科	D5
		玉井 未知留	政策科学研究科	D5
		TOTHILL Vanessa	文学研究科	D4
		PANICKRIANGKRAI Chulapong	情報理工学研究科	D4
		福森 隆寛	情報理工学研究科	D3
		中野 皓太	情報理工学研究科	D3
		林田 亘平	情報理工学研究科	D3
李 増先		文学研究科	D3	
生藤 大典		情報理工学研究科	D2	
王 晟	情報理工学研究科	D2		
その他(立命館大学の非常勤 講師・研究生・研修生等・博士 前期課程院生等)				
客員協力研究員	彬子女王	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	磯田 弦	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	井上 学	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	岩切 友里子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	大西 秀紀	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	大矢 敦子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	岡本 隆明	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	亀田 和子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	河原 大	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	倉橋 正恵	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	小出 治都子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	坂部 裕美子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	佐古 愛己	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	鹿内 菜穂	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	周 萍	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	瀬戸 寿一	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	高須 奈都子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	高橋 幸恵	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	竹内 千代子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	谷 昇	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	塚本 章宏	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	土田 勝	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	日比谷 孟俊	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	松岡 恵悟	衣笠総合研究機構	客員研究員	
松本 節子	衣笠総合研究機構	客員研究員		
丸川 雄三	衣笠総合研究機構	客員研究員		

	丸茂 美恵子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	矢野 明子	衣笠総合研究機構	客員研究員
	BINCSIK Monica	衣笠総合研究機構	客員研究員
	CLARK Timothy Thorburn	衣笠総合研究機構	客員研究員
	DAVIS Julie Nelson	衣笠総合研究機構	客員研究員
	GERSTLE Clarence Andrew	衣笠総合研究機構	客員研究員
	HEINZE Ulrich	衣笠総合研究機構	客員研究員
	IEZZI Julie Ann	衣笠総合研究機構	客員研究員
	PELLECCHIA Diego	衣笠総合研究機構	客員研究員
	RESIG John	衣笠総合研究機構	客員研究員
	TINIOS Ellis	衣笠総合研究機構	客員研究員
学外研究機関所属研究者 (他大学等で非常勤講師を担当している者を含む)			
研究所・センター構成員	計 86 名	(うち学内の若手研究者	計 23 名)

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2015年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	矢野桂司	ジオデザインのフレームワーク	編著	2014年7月	古今書院	石川幹子	238
2	矢野桂司	東日本大震災の復興に向けてのジオデザインの適用—福島県相馬市を対象としたワークショップの事例—	単著	2014年7月	文理閣、『災害の地理学』	吉越昭久	212~232
3	矢野桂司	文化情報をコーディネートする	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八村広三郎、湯浅俊彦(編著)	15~29
4	矢野桂司	既存データの地図データと属性データ	単著	2015年3月	『地理情報科学:GISスタンダード』古今書院	浅見泰司、矢野桂司、貞広幸雄、湯田ミノリ編	41~49
5	矢野桂司	誓願寺門前図屏風を洛中絵図と重ねる—高精細デジタル画像を用いて—	単著	2015年3月	京都文化博物館、『展覧会図録「京を描く」』	京都文化博物館編集	218~225
6	矢野桂司	地理情報科学:GISスタンダード	編著	2015年3月	古今書院	浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編	212
7	赤間亮	Yakusha-e: las estampas de actores en el contexto visual del ukiyo-e	共著	2014年5月	Madrid y Murcia, "Fantasía en escena: kunisada y la escuela utagawa"	Olga García Jiménez, Daniel Sastre de la Vega, Ellis Tinios	31~44
8	赤間亮	Les différents types d'images d'acteurs (Various Types of Actor Prints)	単著	2014年10月	Musees d'art et d'histoire de geneve, "Le geste suspendu;	—	30~53

					ESTAMPES KABUKI DU CABINET D' ARTS GRAPHIQUES”		
9	赤間亮、 鈴木桂子、 八村広三郎 矢野桂司、 湯浅俊彦	文化情報学ガイドブック	編著	2014年11月	勉誠出版	—	216
10	富田美香	戦前期映画ファン雑誌集成 第1 期 マキノ映画 第1回配本 全12巻	監修	2014年6月	ゆまに書房	富田美香監修	
11	富田美香	戦前期映画ファン雑誌集成 第1 期 マキノプロダクション 第1 回配本 全9巻	監修	2015年2月	ゆまに書房	富田美香監修	
12	細井浩一、 福田一史	ゲーム-世界に通じる文化を国内 で保存すべきである	共著	2014年11月	ポット出版、『アーカイブ立 国宣言』	福井健策・吉見俊哉 (監修)、青柳正規・ 御厨貴・他著	62~78
13	八村広三郎	情報メディア技術から「人」を探 る	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイ ドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八 村広三郎、湯浅俊彦 (編著)	103~119
14	鈴木桂子	海外の日本文化研究と国際連携	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイ ドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八 村広三郎、湯浅俊彦 (編著)	125~141
15	金子貴昭	板木デジタルアーカイブが切り 開く出版研究の可能性	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイ ドブック』	赤間亮・鈴木桂子・八 村広三郎・矢野桂司・ 湯浅俊彦	67~71
16	中谷友樹	地理情報システムによる東日本 大震災の文化財被災地図—震災 による文化財被災リスク分布の 把握に向けて—	分担執筆	2014年7月	文理閣、『災害の地理学』	吉越昭久(編)	233~255
17	中谷友樹	Geographically weighted generalised linear modelling	単著	2015年1月	Brunsdon, C. and Singleton, A. eds. Geocomputation: A Practical Primer’, Sage Publication	—	201~220
18	湯浅俊彦	デジタル環境下における出版ビ ジネスと図書館	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイ ドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八 村広三郎、湯浅俊彦 (編著)	83~95
19	湯浅俊彦	電子出版と電子図書館の最前線 を創り出す—立命館大学文学部 湯浅ゼミの挑戦	編著	2015年3月	出版メディアパル	安東正玄・津田康弘・ 田辺祐子	2~3, 8~ 19, 268
20	金田章裕	タウンシップ —土地計画の伝 播と変容	単著	2015年1月25 日	ナカニシヤ出版	—	214
21	李 亮	バーチャル山鉾巡行体験システ ムの構築	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイ ドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八 村広三郎、湯浅俊彦 (編著)	120~123
22	石上阿希	葛飾北斎 萬福和合神	共著	2014年10月	木楽舎	赤木美智	全151

23	石上阿希	日本の春画・艶本研究	単著	2015年2月	平凡社	—	全384
24	石上阿希	日本人は日本をどうみてきたか	共著	2015年2月	笠間書院	田中優子、大木康、横山泰子、米家志乃布、小林ふみ子、JANA URBANOVÁ、内原英聡、竹内晶子、韓京子、大屋多詠子、金時徳、林久美子、福田安典、長島弘明、津田眞弓、川添裕	120～131
25	前崎信也	大正時代の工芸教育—京都市立陶磁器試験場付属伝習所の記録	単著	2014年6月	宮帯出版社	—	全564
26	前崎信也	没後100年 大塩が生んだ京焼の名工 三代清風与平	単著	2014年9月	(株)キャッチボール	—	全52
27	前崎信也	Fukami Sueharu Now: From 2:30 p.m. to 7:00 p.m., July 10th, 2014	共著	2014年9月	Erik Thomsen Gallery, “Fukami Sueharu”	深見陶冶	5～9
28	前崎信也	融合する工芸—出合いがみちびく伝統のミライ	共著	2014年10月	銀座和光、『融合する工芸—出合いがみちびく伝統のミライ』	笹井史恵、田辺小竹、山本茜、若杉聖子、若宮隆志	2～3
29	前崎信也	美術工芸品を可視化する	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八村広三郎、湯浅俊彦(編著)	77～82
30	山本真紗子	近代染織図案データベースの作成と課題	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八村広三郎、湯浅俊彦(編著)	162～165
31	磯田弦	福島第一原子力発電所事故による避難者の生活と選択的移動	単著	2015年3月11日	立花出版、『東日本大震災と被災・避難の生活記録』	吉原直樹、仁平義明、松本行真、編著	
32	磯田弦	【翻訳】ルールが所与の場合のジオデザイン		2014年7月	古今書院、「ジオデザインのフレームワーク」	カール・スタイニッツ著、石川幹子・矢野桂司 編訳	147-186
33	岩切友里子	国芳	単著	2014年9月	岩波書店	—	208
34	岩切友里子	芳年	単著	2014年12月	平凡社	—	311
35	倉橋正恵	「幕末風刺画の中の役者評判絵」	単著	2014年11月	思文閣出版、『風俗絵画の文化Ⅲ—瞬時をうつすフィロソフィー—』	松本郁代・出光佐千子・彬子女王編	109～134
36	佐古愛己	『陽明叢書 記録文書篇 第9輯 法制史料集』「解説(法曹至要抄・裁判至要抄・追加・式目追加条々)」	共著	2014年9月	思文閣出版	杉橋隆夫	88～99
37	佐古愛己	「古文書解説講座 古文書が語る、歴史その瞬間 『藤原為家自筆讓状(東京国立博物館蔵)』」	単著	2015年1月	角川書店	—	210～213
38	瀬戸寿一	G空間情報の共有に私たちが『参加』できる社会をめざして	単著	2014年11月	勉誠出版、『文化情報学ガイドブック』	赤間亮、鈴木桂子、八村広三郎、湯浅俊彦	35～37

						(編著)	
39	谷昇	藤原定家 ～歌の切り棄て「かた腹いたや」～	単著	2014年7月	清文堂出版、『公武権力の変容と仏教界』	平雅行編	91～104
40	丸川雄三	Involvement with the Business History Image Index Project	共著	2013年4月	Rediscovering Shibusawa Eiichi in the 21st Century, Shibusawa Eiichi Memorial Foundation	Gil Latz, ed.	226～228
41	丸茂美恵子	『世界演劇教育の現況と展望』（第2回国際学術大会、「日本中高古典演劇教育の現況と展望－日本舞踊教育について－」再録）	共著	2014年7月	高麗大学校韓国語文教育研究所	熊谷保宏他	222～235, 362～363
42	TINIOS Ellis	‘Kunisada. El gran maestro’ [Kunisada: the Grand Master]	単著	2014年5月	Fantasia en escena. Kunisada y la escuela Utagawa [Fantasy on the stage: Kunisada and the Utagawa school] Madrid: Real Academia de Bellas Artes de San Fernando	Olga Garcia Jimenez, Akama Ryō, Daniel Sastre de la Vega	59～75
43	TINIOS Ellis	‘Contexte Historique’ [Prints in context] & La production des estampes ukiyo-e’ [The production of ukiyo-e prints]	単著	2014年8月	Le geste suspend: Estampes kabuki du Cabinet d’ arts graphiques [The Frozen Gesture: Kabuki Prints from the Cabinet d’ arts graphiques] Geneva: Musées d’ Art et d’ Histoire de Geneve	edited by Christian Rümelin and Hans Bjarne Thomsen	10～17, 18～23

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	Keiji Yano and Tomoki Nakaya	Japanese Surname Regions	共著	2014年8月	Papers in Regional Science (93 巻 3 号)	James A. Cheshire, Paul A. Longley	539～555	有
2	矢野桂司	立命館大学グローバルCOEプログラムにおける歴史GISのコラボレーション	単著	2014年8月	古今書院、『地理』第59巻第9号	—	49～59	無
3	矢野桂司	JMOOCの準備段階における課題と期待	単著	2014年9月	日本私立大学連盟『大学時報』第63巻第358号	—	48～51	招待
4	矢野桂司	近藤豊写真資料のデジタルアーカイブ構築と過去の景観	共著	2014年11月	『立命館地理学』(26巻)	村上晴澄、佐藤弘隆、福島幸宏、土橋誠	35～46	無
5	矢野桂司	大学キャンパスの	共著	2014年11月	『地理情報システム学会	桐村喬	CD-ROM	無

		移転に伴う学生の居住地および通学行動の変化			講演論文集』(24巻)			
6	矢野桂司、中谷友樹	固定資産税における路線価格流れ図の作成	共著	2014年11月	『地理情報システム学会講演論文集』(24巻)	青木和人, 武田幸司	CD-ROM	無
7	矢野桂司	立命館大学アート・リサーチセンターでの大学院展開	単著	2014年12月	第20回公開シンポジウム『人文科学とデータベース』発表論文集	—	53~54	無
8	矢野桂司	地理情報システム(GIS)と地理情報科学のさらなる展開に向けて	単著	2014年	日本写真測量学会『写真測量とリモートセンシング』第53巻第6号	—	239	招待
9	矢野桂司	Classifying the Japanese in the 2001 London using geodemographics	単著	2015年	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, Department of Geography, Tokyo Metropolitan University, Vol.50, March, 2015, pp.9-18	—		無
10	赤間亮	京都で日本文学・日本文化を学ぶということ	単著	2014年12月	『論究日本文学』	—	101	無
11	稲葉光行、斎藤進也、徳永留美	ひらめき☆ときめきサイエンス「模擬法廷に来て裁判に参加してみよう」の実践および論考	共著	2014年7月	立命館大学人間科学研究所、『人間科学研究』, 30巻	山崎優子・サトウタツヤ・安田裕子・上村晃弘・木戸彩恵・若林宏輔・福田茉莉・滑田明暢・山田早紀・川本静香・中妻拓也・春日秀朗・神崎真実・中田友貴・山口慶江	87~97	有
12	Mitsuyuki Inaba, Michiru Tamai, Ruck Thawonmas, Koichi Hosoi	Implementing and Evaluating Collaborative Serious Games for Japanese Cultural Learning in 3D Metaverse	共著	2014年8月	Proceedings of Replaying Japan Again: 2nd International Japan Game Studies Conference 2014	Kenji Kitamura, Akinori Nakamura, and Masayuki Uemura	47	
13	稲葉光行	公判廷における尋問者と供述者のディスコミュニケーション	共著	2014年10月	『法と心理』(14巻1号)	山田早紀、脇中洋、村山満明、大倉得史	63~70	
14	稲葉光行、斎藤進也	高度情報化社会における法心理学領	共著	2014年10月	『法と心理』(14巻1号)	若林宏輔	82~86	

		域の展望						
15	稲葉光行	複合的媒介人工物としてのビデオ作品がもつ意味ー平成 26 年度八幡子ども会議委員による市長提言を事例としてー	共著	2015 年 2 月	『日本教育工学会研究報告集』(15 巻 1 号)	伊藤大輔	195~200	
16	木立雅朗	元藤平陶芸登り窯についてー遺構と記録ー	単著	2015 年 3 月	京都市、『元藤平陶芸登り窯の歴史的価値等調査研究報告書』	—	35~68	無
17	木立雅朗、山本真紗子、鈴木桂子	友禪図案とプライバシー	共著	2015 年 3 月	『平成 22 年度~平成 26 年度「私立大学戦略的基盤形成支援事業」研究成果報告書 京都における工芸文化の総合的研究』	—	428~438	
18	田中弘美	織物の質感シミュレーション	単著	2014 年 10 月	日本衣服学会誌特集号『衣服をシミュレートする』(58 巻 1 号)	—	15~19	
19	Hiroimi T. Tanaka, Satoshi Tanaka,	Photorealistic VR Space Reproductions of Historical Kyoto Sites based on a Next-Generation 3D Game Engine	共著	2015 年	J. Adv. Simulat. Sci. Eng(1 巻 1 号)	Wang Sheng, Ken Ishikawa, Akihiro Tsukamoto	188~204	
20	富田美香	もう一つの運動体ー『マキノ映画』解題	単著	2014 年 6 月	富田美香監修『戦前期映画ファン雑誌集成 第 1 期 マキノ 映画 第 12 巻』(ゆまに書房)	—	485~492	
21	富田美香	東京から／への視点ーM Picture の理想と現実ー	単著	2015 年 2 月	富田美香監修『戦前期映画ファン雑誌集成 第 1 期 マキノ プロダクション 第 9 巻』(ゆまに書房)	—	453~460	
22	Akinori NAKAMURA, Koichi HOSOI	The effect of interactive promotion for Indie Games: Using the Social Media	共著	2014 年 8 月	Proceedings of Replaying Japan Again: 2nd International Japan Game Studies Conference 2014	Xingru XIE	41	
23	細井浩一	オンラインゲームのアーカイブ構築を取り巻く課題と論点	共著	2015 年 3 月	『日本デジタルゲーム学会 2014 年次大会予稿集』	鎌田隼輔、中村彰憲	151~154	
24	細井浩一、福田一史	オンラインゲームのアーカイブ構築	共著	2015 年 3 月	『アート・リサーチ』(15 号)	鎌田隼輔、中村彰憲	73~85	

		に関する基礎的研究—PRESERVING VIRTUAL WORLDS FINAL REPORT をめぐる論点整理—						
25	八村広三郎	無形文化遺産のデジタル・アーカイブ	単著	2014年7月	『バイオメカニズム 22—人間の動きの分析—』	—	1~12、22	無
26	八村広三郎	GenLaban: A tool for generating Labanotation from motion capture data	共著	2014年8月	Journal of Multimedia Tools and Applications	Worawat Choensawat	online (24 pages)	有
27	八村広三郎	Real-time Motion Recognition of Complex Whole Body Motion for Virtual Dance Collaboration	共著	2014年10月	International Journal of Digital Content Technology and its Applications, Vol. 8, No. 5	Seiya Tsuruta	13~26	有
28	鈴木桂子	きもの文化とその研究の海外発信	単著	2015年3月	『平成22年度~平成26年度「私立大学戦略的基盤形成支援事業」研究成果報告書 京都における工芸文化の総合的研究』	—	98~100	
29	鈴木桂子	Selling "Japan" to the West: Kimono Culture in the Twentieth Century	単著	2015年3月	『平成22年度~平成26年度「私立大学戦略的基盤形成支援事業」研究成果報告書 京都における工芸文化の総合的研究』	—	217~219	
30	中谷友樹、矢野桂司	社会格差を視る小地域のセンサス指標：地理的剥奪指標とジオデモグラフィクス	共著	2014年8月	『地域開発』(599号)	—	35~40	招待
31	中谷友樹	階層バイズモデルを利用した小地域疾病地図-近隣地区を単位とする健康格差の視覚化-	単著	2014年8月	『統計』(65巻8号)	—	22~27	
32	湯浅俊彦	次世代に向けた出版コンテンツの活用—出版業界と図書館界の利害調整の必要性	単著	2014年5月	『DH.jp』(3号)	—	32~37	
33	湯浅俊彦	読書アクセシビリティの保障と大学図書館—所蔵資料	単著	2014年5月	『論究日本文学』(100号)	—	209~227	

		テキストデータ化 をめぐって						
34	湯浅俊彦	電子出版の現状と これからの学校図 書館	単著	2014年9月	『学校図書館』(767号)	—	27~30	
35	湯浅俊彦	公共図書館におけ る電子資料提供の 新展開	単著	2014年10月	『図書館雑誌』(108巻 10号)	—	677~679	
36	湯浅俊彦	電子出版がもたら す新たな文化創造 —電子学術書と出 版産業の変化	単著	2014年10月	『第16回国際出版学術 会議論文集』	—	429~440	
37	湯浅俊彦	電子図書館の申し い動向	単著	2014年12月	『図書館の学校』(2014 年冬号)	—	29	
38	Ruck Thawonmas	Departure Prediction Approach based by Online Game Player's Behaviors Analysis	共著	2014年5月	Advanced Materials Research Vols. 931-932	Kittipat Savetratanakaree, Kingkarn Sookhanaphibarn, Sarun Intakosum, Kuan-Ta Chen	1370~ 1374	有
39	Ruck Thawonmas	Players' Interest Measurement Based on Visiting Time in a Location- Based Game	共著	2014年10月	Proc. of the 3rd IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2014)	Satoshi Chiba, Bang Hai Le	492~493	有
40	Ruck Thawonmas	Collaborative Filtering for Recommendation of Areas in Virtual Worlds	共著	2014年12月	Proc. of the 2014 International Workshop on Network and Systems Support for Games (NetGames 2014)	Kanta Kawase, Bang Hai Le	1~3	有
41	Ruck Thawonmas	Quantum-inspired Genetic Algorithm with Two Search Supportive Schemes and Artificial Entanglement	共著	2014年12月	Proc. of 2014 IEEE Symposium on Foundations of Computational Intelligence (FOCI)	Chee Ken Choy, Kien Quang Nguyen	17~23	有
42	Ruck Thawonmas	Bounded-SVD: A Matrix Factorization Method with Bound Constraints for Recommender Systems	共著	2015年2月	Proc. of the 2nd International Research Conference on Emerging Information Technology and Engineering Solutions(EITES 2015)	Bang Hai Le, Kien Quang Nguyen	23~26	有

43	古川耕平	三次元デジタルアーカイブにおけるゲーミフィケーションの一事例	共著	2014年7月	『立命館映像学7号』	廣瀬智史	7~12	有
44	川嶋將生	中・近世被差別民による「草履」の献上と権門	単著	2015年3月	世界人権問題研究センター発行『職能民へのまなざし』	—	67~86	無
45	金田章裕	日本の道1—古代の道	単著	2014年12月	『Human』	—	123~131	無
46	金田章裕	生江臣東人と景観史	単著	2015年1月	『日本歴史月報14』	—	4~8	無
47	金田章裕	人文学の経費と補助金の課題		2015年3月	『IDE』	—	38~42	無
48	Wataru Wakita and Hiromi T. Tanaka	A Digital Archiving for Large 3D Woven Cultural Artifacts Exhibition	共著	2014年7月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(vol.2 巻 No.3号)	—	236~247	
49	Wataru Wakita, Hiromi T. Tanaka	A Real-Object-Oriented Exhibition System of Ukiyo-e with Anisotropic Reflection Properties	共著	2014年7月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(vol.2 巻 No.3号)	Jiro Hara	209~216	
50	Wataru Wakita, and Hiromi T. Tanaka	Real-time Anisotropic Reflectance Rendering of Noh-Costume with Bonfire Flickering Effect	共著	2014年7月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(vol.2 巻 No.3号)	Yasuhiro Nishiwaki	217~224	
51	脇田航、古川耕平、八村広三郎、田中弘美	反射光解析に基づく薪能のリアルタイムCG表現	共著	2015年3月	『日本バーチャルリアリティ学会論文誌』(vol.20 巻 no.1号)	—	25~33	
52	Liang Li, Woong Choi, Kozaburo Hachimura, Keiji Yano, Takanobu Nishiura, Hiromi T. Tanaka	Virtual Yamahoko Parade Experience System with Vibration Simulation	共著	2014年5月	ITE Transactions on Media Technology and Applications(2 巻 3号)	—	248~255	有
53	Liang Li, Kyoko Hasegawa, Takahiro Fukumori, Wataru	Digital Museums of Cultural Heritages in Kyoto: The Gion	共著	2014年6月	Proc. 16th International Conference on Human Interface and the	—	523~534	

	Wakita, Satoshi Tanaka, Takanobu Nishiura, Kozaburo Hachimura, Hiromi Tanaka	Festival in a Virtual Space			Management of Information (HIMI 2014), Springer LNCS 8522			
54	Chulapong Panichkriangkrai, Liang Li, Kozaburo Hachimura	Image analysis for historical Japanese book archives	共著	2014年	International Journal of Asian Business and Information, vol. 5, no. 2	Ross Walker	1~11	有
55	石上阿希	【依頼】「黒いカー テンの向こう側 - 大英博物館春画展 と日本」	単著	2014年7月	日本博物館協会、『博物 館研究』、49-8号	—	18~21	無
56	加茂瑞穂	型紙コレクション のデジタル・アー カイブとその効用	単著	2014年11月	『アート・ドキュメンテ ーション学会 第7回 秋期研究発表会予稿集』	—	17~20	有
57	加茂瑞穂	型紙コレクション にみる文様の傾向 と比較—吉岡コレ クションを例とし て	単著	2015年3月	『アート・リサーチ』15 号	—	39~47	有
58	Fuminori Kimura and Akira Maeda	Method for Supporting Analysis of Personal Relationships through Place Names Extracted from Documents	共著	2014年9月	Proceedings of Digital Libraries 2014: ACM/IEEE Joint Conference on Digital Libraries (JCDL 2014)	—	253~256	有
59	Fuminori Kimura, and Akira Maeda	An Approach to Named Entity Extraction from Historical Documents in Traditional Mongolian Script	共著	2014年9月	Proceedings of Digital Libraries 2014: ACM/IEEE Joint Conference on Digital Libraries (JCDL 2014)	Biligsaikhan Batjargal, Garmaabazar Khaltarkhuu	489~490	有
60	Fuminori Kimura, and Akira Maeda	Identifying the Same Records across multiple Ukiyo-e Image Databases Using Textual Data in Different Languages	共著	2014年9月	Proceedings of Digital Libraries 2014: ACM/IEEE Joint Conference on Digital Libraries (JCDL 2014)	Biligsaikhan Batjargal, Takeo Kuyama	193~196	有

61	Fuminori Kimura, Akira Maeda	Developing a Collaborative Annotation System for Historical Documents by Multiple Humanities Researchers	共著	2014年12月	the 7th International Conference on Computer Science and Information Technology (ICCSIT2014), Barcelona, Spain	Takafumi Sato, Makoto Goto	88~93	有
62	木村文則, 前田亮	『東大寺要録』からの歴史知識情報の抽出-注釈情報の共有を目指して-	共著	2014年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム, 『じんもんこん 2014 論文集』	佐藤貴文, 後藤真	93~100	有
63	木村文則, 前田亮, 赤間 亮	役者評判記からの人物表現抽出手法の提案	共著	2014年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム, 『じんもんこん 2015 論文集』	永井規善	145~150	有
64	木村文則, 前田亮	Wikipedia 記事の言語間差異抽出手法の提案	共著	2015年3月	『第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2015) 論文集』	原田一慧	8	
65	Rumi Tokunaga	Chromatic induction from surrounding stimuli under perceptual suppression	共著	2014年11月	Visual Neuroscience, Vol. 31, Issue 6	Koji Horiuchi, Ichiro Kuriki, Kazumichi Matsumiya, Satoshi Shioiri	387~400	有
66	Kazufumi FUKUDA, Koichi HOSOI	Construction of Digital Game Basic Title Database, and the International Cooperation	共著	2014年8月	Proceedings of Replaying Japan Again: 2nd International Japan Game Studies Conference 2014	Akinori NAKAMURA, Masayuki UEMURA	66~67	
67	福田一史, 細井浩一	コンピュータ・ゲームに関わる諸データベースの問題と可能性	共著	2015年3月	『日本デジタルゲーム学会 2014 年次大会予稿集』	井上明人, 鎌田隼輔, 中村彰憲	163~166	
68	福田一史, 細井浩一	デジタルゲームにおけるプラットフォーム概念の基礎的区分の再提案	共著	2015年3月	『日本デジタルゲーム学会 2014 年次大会予稿集』	井上明人, 鎌田隼輔, 中村彰憲	159~162	
69	松葉涼子	役者絵本と役者似顔絵本-初代豊国画『会本恋の楽室』を中心に-	単著	2015年3月	『アート・リサーチ』15号	—	3~33	有
70	山本真紗子	百貨店の着物図案と日本美術史学研究-高島屋百選会趣意書にみる本阿弥光悦論	単著	2014年5月	醍醐書房, 『美術フォーラム 21』 vol. 29	—	142~146	無

71	李増先	〔大会記録〕資料の収集とその活用	単著	2014年12月	立命館大学日本文学会、『論究日本文学』、101号	—	19～27	有
72	李増先	〈校異〉享保十七年柳営曲水宴詩歌	単著	2015年3月	立命館大学中古文学研究会、『平安文学研究・衣笠編』、第6輯	—	34～63	有
73	川内有子	1955年のサインデンステッカー訳について	単著	2015年3月	国文学研究資料館、『海外平安文学研究ジャーナル』、vol.2.0	—	37～50	有
74	磯田 弦	メッシュ統計と地理的加重回帰を用いた食品スーパーの立地確率の算出	共著	2014年8月	『統計 65』(8)	渡邊俊介	16～21	無
75	Yuzuru Isoda	Examining the effects of land use zoning on land price with geographically weighted regression	単著	2015年	Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University 50	—	81～88	
76	大西秀紀	新国劇関連SPレコードディスコグラフィ	単著	2014年11月	早稲田大学演劇博物館、『企画展 寄らば切るぞ！新国劇と剣劇の世界』展示図録	児玉竜一、大笹吉雄、渡辺保、神山彰、菊池明、小松弘、他	21～23	無
77	亀田和子	“Shokunin Zukushi-e, “Pictures of People of Various Occupations in Their Workshops”	単著	2015年3月	Kaikodo Journal, XXXI (New York: Spring 2015)	Howard Rogers, ed.	238～246	無
78	亀田和子	“Copying and Theory in Edo Period Japan (1615-1868)”	単著	2014年9月	Art History, Vol.37 Issue4 (London: Association of Art Historians, UK)	Paul Duro, ed.	708～727	有
79	倉橋正恵	石塚豊芥子『花江都歌舞妓年代記続編』—近世後期における歌舞伎興行記録の様相—	単著	2014年5月	立命館大学日本文学会、『論究日本文学』、100号	—	111～126	無
80	倉橋正恵	大英博物館所蔵絵尽しコレクションについて	単著	2015年3月	立命館大学アート・リサーチセンター、『アート・リサーチ』15号	—	61～71	有
81	佐古愛己	「特集 歴史とGISの接点 平安京研究とGIS」	単著	2014年9月	『月刊地理』59-9	なし	30～38	無
82	Nao Shikanai,	Movement	共著	2014年12月	Institute of Control,	Worawat	1357～	無

	Kozaburo Hachimura	Characteristics of Entire Bodies in Dancers' Interaction			Robotics and Systems, ICCAS 2014 Proceedings	Choensawat	1361	
83	Nao Shikanai, Kozaburo Hachimura	The Effects of the Presence of an Audience on the Emotions and Movements of Dancers	共著	2014年12月	Elsevier, Procedia Technology, Vol. 18	—	32~36	無
84	鹿内菜穂	環境と幼児の運動の能力の関係ー震災後福島の子育所における運動能力検査の実施ー	共著	2015年2月	日本女子大学家政学部、『日本女子大学紀要』Vol. 62	澤田美砂子、杉山哲司、定行まり子	21~27	無
85	瀬戸寿一	クラウドソーシングとフィールドワークに基づく農山漁村の地理空間情報の共有	単著	2014年6月	『農村計画学会誌』、Vol. 33-1	—	42~45	無
86	瀬戸寿一	地理空間情報のオープン化がもたらす、デジタル人文学の展開	単著	2014年7月	『DH.jp』 Vol. 4	—	38~42	無
87	瀬戸寿一	The Development of a Community and Platform in Support of Japanese OpenGeoData: A Case Study of the Urban Data Challenge of Tokyo 2013	共著	2014年9月	Proceedings of the GIScience, Vol. 8	Sekimoto, Y.	406~409	有
88	瀬戸寿一	オープンな地理空間情報の流通量とその国際比較	共著	2014年11月	『地理情報システム学会講演論文集』、Vol. 23	関本義秀	1~4	無
89	瀬戸寿一、矢野桂司	『京都市明細図』と京都市の都市計画履歴	共著	2014年11月	『地理情報システム学会講演論文集』(24巻)	赤石直美、福島幸宏	CD-ROM	無
90	瀬戸寿一、矢野桂司	「京都市明細図」の記載内容に関する一考察	共著	2014年	『立命館地理学』(26号)	赤石直美、福島幸宏	73-89	有
91	瀬戸寿一	参加型社会におけるGISと地理情報科学の役割	単著	2015年1月	『研究報告人文科学とコンピュータ』、2015-CH-105(10)	—	1~2	無

92	竹内千代子	几董『井華集』春 輪講 16	単著	2014年10月	京都俳文学研究会『俳文 学研究』62号	—	6	無
93	竹内千代子	几董『井華集』春 輪講 17	単著	2015年3月	京都俳文学研究会『俳文 学研究』63号	—	7	無
94	土田勝、田中弘美	高分解能マルチバ ンドHDR画像解析 に基づく織物の分 光反射率推定	共著	2015年3月	『日本バーチャルリアリ ティ学会論文誌』 (vol. 20 巻 no. 1号)	田中士郎、高柳亜 紀、坂口嘉之	35~44	
95	日比谷孟俊	浮世絵から見た歌 舞伎、吉原俄、天 下祭における相互 の関わりと吉原男 芸者の役割 - 河東 節山彦新次郎父子 を例として -	単著	2014年12月	太田記念美術館紀要『浮 世絵研究』, 第5号	—	37~66	無
96	丸川雄三	ウェブ版『みづ ゑ』の研究—美術 資料のデジタル公 開と美術アーカイ ブズへの展望—	共著	2015年2月	『美術研究』第414号	津田徹英、中村佳 史、吉崎真弓、橘 川英規	72~79	有
97	丸川雄三	身装画像における モチーフの分析と 絵引の研究	単著	2015年1月	情報処理学会研究報告 『人文科学とコンピュー タ研究会報告』、2015- CH-105(2)	—	1~2	無
98	Andrew Gerstle	パロディ春本で女 性解放運動	単著	2015年1月	『芸術新潮』		64~73	
99	Andrew Gerstle	パロディ春画の意 義	単著	2015年3月	Proceedings of the 38th International Conference on Japanese Literature, National Institute of Japanese Literature, Tokyo		239~259	
100	Andrew Gerstle	Digital Humanities: What Collaborative Projects Can Achieve	単著	2015年3月	Art Research, Ritsumeikan Art Research Center, vol, 15		3~11	
101	BINCSIK Monika	Japan and the West in Dialogue	単著	2014年	Hali, vol. 182	—	102~106	
102	BINCSIK Monika	Benjamin Altman' s Little-Known Collection of Japanese Lacquers	単著	2015年	Impressions, 36	—	61~84	
103	BINCSIK Monika	Discovering Japanese Art: American	単著	2015年3月	Orientations, vol.46 no. 2	—	118~131	

		Collectors and the Met					
--	--	------------------------	--	--	--	--	--

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	矢野桂司	コンピュータグラフィックで蘇る大船鉦巡行風景	2014年6月	大船鉦復興記念フォーラム	—
2	矢野桂司	ジオデモグラフィクスとは何か?	2014年7月	空間解析・ジオデモグラフィックシンポジウム	—
3	矢野桂司	デジタル・ヒューマニティーズとバーチャル京都	2014年7月	空間情報シンポジウム2014	—
4	矢野桂司	立命館大学文学研究科文化情報学専修のプロジェクト概要「デジタル技術が生み出す新たな文化効果	2014年7月	立命館大学文学研究科文化情報学専修2014年度連続講演会第2回	—
5	矢野桂司	大学教育におけるGIS教育の推進の必要性「学校教育にもとめられるオープンデータを活用できる人材育成ー日本学術会議提言：地理教育におけるオープンデータの活用と地図力 /GIS 技能の育成を踏まえてー	2014年8月	日本学術会議 地域研究委員会・地球惑星委員会合同 地理教育分科会	—
6	矢野桂司	デジタル地図を読む	2014年9月	立命館大学土曜講座 (『地図を読む』)	—
7	矢野桂司	東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか	2014年11月	日本学術会議主催学術フォーラム	—
8	矢野桂司	文化・歴史・地理空間情報を活用した地域研究の展開	2014年12月	立命館地理学会	—
9	矢野桂司	パネル・ディスカッション:「文化情報学とデータベース」	2014年12月	第20回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」	—
10	矢野桂司	【基調講演】3D-GISで歴史都市京都をアーカイブする	2015年2月23日	GIS学会四国支部, 徳島大学, 徳島	—
11	Keiji Yano and Keiko Suzuki	Graduate Program of Digital Humanities for Japanese Arts and Cultures, Graduate School of Letters, Ritsumeikan University	2015年3月6日	Digital Humanities Workshop, Columbia University,	—
12	Keiji Yano	Digital Museum Project (GIS, motion capture, Gion Festival, information technology)	2015年3月6日	Digital Humanities Workshop, Columbia University,	—
13	赤間亮	古典籍デジタル・アーカイブと複製出版事業の行方	2014年6月23日	立命館大学大阪キャンパス、日本出版学会(関西部会)・日本アート・ドキュメンテーション学会(関西地区部会)共催研究会	—
14	Ryo Akama	Floats (Float Decorations) and Pictorial Themes (山車と画題)	2015年1月26日	Degrees of Narrativity in the Japanese Visual Tradition	—
15	Ryo Akama	Global Digitalization Project (woodblock prints and printed	2015年3月6日	デジタル・ヒューマニティーズ・ワークショップ in コロンビア大学	—

		books, Japanese art and culture, international research and educational activities)			
16	Ryo Akama	The ARC's Digitalization Project: Its information-technological aspects	2015年3月6日	デジタル・ヒューマニティーズ・ワークショップ in コロンビア大学	—
17	Ryo Akama	Digital Humanities for Japanese Arts and Culture: the Case of the Art Research Center, Ritsumeikan University	2015年3月14日	Digital Humanities and The Futures of Japanese Studies: A Symposium and Workshop	—
18	Mitsuyuki Inaba	The Grounded Text Mining Approach as a New Technique for Mixed Methods Research: From an Analysis of a Focus Group Interview on Cancer Disclosure with Japanese People	2014年6月	2014 International Mixed Methods Conference	Hisako Kakai
19	Mitsuyuki Inaba, Michiru Tamai, Ruck Thawonmas, Koichi Hosoi	Japanese Culture in 3D Metaverse (Demonstration)	2014年8月	Replaying Japan Again: 2nd International Japan Game Studies Conference 2014	Kenji Kitamura, Akinori Nakamura, and Masayuki Uemura
20	Mitsuyuki Inaba	Children-Centered Learning Community and Collaborative Activity for Social Improvement	2014年9月	The 2nd International Conference on Lifelong Learning for All 2014 (LLL 2014)	—
21	Mitsuyuki Inaba	A Possibility of A Mixed-Methods Inquiry for Re-examining Criminal Procedures in Japan	2014年10月	The 8th East Asian Psychology and Law Conference	—
22	Mitsuyuki Inaba	A Trend of DH Research on Japanese Arts and Cultures: From Literary and Linguistic Computing to Digital Scholarship	2014年12月	5th International Conference of Digital Archives and Digital Humanities	—
23	Mitsuyuki Inaba	A trend of DH research in Japan: Cultivating a new tradition of digital scholarship	2014年12月	1st International Symposium on Digital Humanities at Ajou University	—
24	Mitsuyuki Inaba	Children-centered Learning Community and Collaborative Activity	2015年3月	UCLinks Conference 2015	—
25	木立雅朗	陶器製手榴弾の研究—戦跡考古学の可能性—	2014年5月	日本考古学協会 2014 年度総会 研究発表会(ポスターセッション)、日本大学	帖地真穂
26	木立雅朗、鈴木桂子、山本真紗子	友禪とプライバシー	2014年5月	"Privacy and Surveillance in the Digital Age." 2nd Around the World Conference、ネ	—

				ット上公開	
27	木立雅朗	伏見人形の窯をめぐってー桶窯の民俗例と焼成実験ー	2014年7月	同志社大学考古学談話会、同志社大学新町キャンパス	—
28	木立雅朗	友禅図案を活かすー和鏡・唐紙・友禅小物ー	2015年2月	私立大学戦略的基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)、『シンポジウム つたえる力2 工芸研究とデジタル・ヒューマニティーズ』、立命館大学衣笠キャンパス	—
29	木立雅朗	京都の土と窯	2015年3月	私立大学戦略的基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)、『シンポジウム つたえる力3 京都の土と石ー伝統工芸を支える資源ー』、キャンパスプラザ京都	—
30	木立雅朗	須恵器製作実験についてー杯と甕ー	2015年3月	私立大学戦略的基盤形成支援事業「京都における工芸文化の総合的研究」(立命館大学)・窯跡研究会、『シンポジウム 日本と韓国の実験考古学と伝統工芸2』、立命館朱雀キャンパス	—
31	王晟、長谷川恭子、田中覚	3D ゲームエンジンを用いた祇園祭仮想空間の構築と Web 公開システム	2014年7月	可視化情報学会 第42回可視化情報シンポジウム講演論文集, vol. 34 Suppl. No. 1, pp. 363-364, 工学院大学(東京)	石河健、徐睿
32	田中覚	【招待】大規模 3 次元点群データの解析を支援する半透明可視化	2014年9月	日本原子力学会「2014 秋の大会」, 京都大学吉田キャンパス	—
33	王晟、長谷川恭子、田中弘美、田中覚	歴史的建造物のレーザ計測点群データに基づく平面・断面図の自動生成と融合可視化	2014年9月	2014 年度 情報処理学会関西支部 支部大会	岡本篤志
34	田中覚	日本版 可視化研究開発の課題トップ10	2014年9月	日本学術会議公開シンポジウム「可視化」ービッグデータ時代の科学を拓くー	司会: 藤代一成, パネリスト: 伊藤貴之, 瀬尾拓史, 寺山和夫, 小山田耕二
35	田中覚	【招待】大規模ポイントクラウドの確率的レンダリングに基づく 3 次元文化材の透視可視化	2015年3月	可視化情報学会・共感型防災可視化研究会	—
36	田中弘美	京都文化の五感体験デジタルミュージアム	2014年5月	文部科学省科学技術人材育成費補助事業 女性科学者が語る研究の醍醐味第1回	—
37	Hiromi T. Tanaka	Extracting subsurface scattering properties of silk-like fabrics from high-resolution HDR images	2014年7月	International Symposium on "Future of Shitsukan Research	Shiro Tanaka, Yoshiyuki Sakaguchi
38	田中弘美	高分解能マルチバンド HDR 画像を用いた織物の微小構造に基づく鏡面反射の色度解析	2015年3月	質感脳情報学第9回領域班会議	田中士郎、坂口嘉之
39	富田美香	1950 年代京都における映画興行の様態ーアトラクションつき興行を中心に	2014年4月	「昭和戦後期における日本映画史の再構築」国際日本文化研究センター	—

40	富田美香	1950年代京都における映画興行の様態 —アトラクションつき映画興行を中心に—その2	2014年9月	「昭和戦後期における日本映画史の再構築」国際日本文化研究センター	—
41	富田美香	史料からみる砦撮影所 —音画芸術の殿堂—	2015年2月	世田谷美術館『東宝スタジオ展 映画=創造の現場』記念講演	—
42	富田美香	擬似家族の〈間〉と「茶の間」 —「男はつらいよ」の反復とずれ—	2015年3月	『間(ま)と間(あいだ)』日本の文化・思想の可能性	—
43	富田美香	1950年代京都における映画興行の様態 —アトラクションつき映画興行を中心に—その3	2015年3月	「昭和戦後期における日本映画史の再構築」国際日本文化研究センター	—
44	細井浩一	日本・京都文化創意産業発展と新的地域振興模式	2014年9月	文化創意産業発展と革新国際学術検討会(招待講演)	—
45	細井浩一	伝統工芸をみせる—セカンドライフとバーチャルハイブリッドタグ	2015年2月	国際シンポジウム・シリーズ「つたえる力2」工芸研究とデジタル・ヒューマニティーズ	—
46	Kozaburo Hachimura	【招待】(Keynote) Culture and Computing -Past, Present and Future	2014年9月	Workshop on Innovations in Information and Communication Science and Technology, Warsaw, Poland	—
47	Kozaburo Hachimura	Autonomous Dance Avatar for Generating Stylized Dance Motion from Simple Notations	2014年11月	Workshop, Dance Notations and Robot Motion, LAAS, Toulouse, France	Worawat Choensawat, Minako Nakamura
48	鈴木桂子	立命館大学アート・リサーチセンターとデジタル・ヒューマニティーズプロジェクト	2014年9月	Japan Orientation: New Directions in Japanese Studies	—
49	鈴木桂子	立命館大学アート・リサーチセンターとデジタル・ヒューマニティーズプロジェクトの紹介	2014年12月	6大学シンポジウム	—
50	Chulapong Panichkriangkrai, Liang Li, Keiko Suzuki, Ryo Akama, and Kozaburo Hachimura	An Interactive Transcription Support System for Woodblock-Printed Japanese Historical Book Images	2014年12月	じんもんこん2014	—
51	鈴木桂子	Folklore's Narrativity and Popular Imagery: A Case Study of Otohime	2015年1月	Joint ARC RITS, JRG HPU, and Yūkōkai Research Workshop on Degrees of Narrativity in the Japanese Visual Tradition	—
52	鈴木桂子	パネル・ディスカッション「つたえる力—京都の伝統工芸」	2015年2月	国際シンポジウム・シリーズ「つたえる力2」工芸研究とデジタル・ヒューマニティーズ	—
53	鈴木桂子	An Introduction of the Art Research Center, Ritsumeikan University: Its Research, Education, and International Collaboration	2015年3月	デジタル・ヒューマニティーズ・ワークショップ	—
54	金子貴昭	【招待】日本近世期の板木現存状	2015年3月	東アジア木版国際学術会議、ソウル大学校	—

		況とデジタルアーカイブによる保存・活用			
55	中谷友樹	Visualising Emerging Trends of Clusters in a Space-Time Region Using Spatio-Temporal Kernel Regression	2014年9月	GIScience 2014	James Haworth, Tao Cheng
56	中野皓太, 西浦敬信	極座標表現された時空間領域の差分法の壁面反射を伴う音場模擬を対象とした数値的評価	2014年8月	電子情報通信学会信号処理研究会, 立命館大学大阪梅田キャンパス	中山雅人, 山下洋一
57	中野皓太, 西浦敬信	極座標表現された時空間領域における音場模擬を目的とした差分法の評価	2014年9月	日本音響学会 2014 年秋季研究発表会, 北星学園大学	中山雅人, 山下洋一
58	Kota Nakano, Takanobu Nishiura	A polar-form calculation-model in Minkowski space for sound field simulation with frequency-domain-based FDTD to avoid circularity problem	2014年9月	7th Forum Acusticum 2014 (FA2014), AGH 科学技術大学 Krakow, Poland	Masato Nakayama, Yoichi Yamashita
59	Kota Nakano, Takanobu Nishiura	High accuracy calculating model for sound field simulation with DFT-based FDTD on polar-quaternion-based axis towards craft restoration	2014年11月	inter.noise 2014, Melbourne Convention and Exhibition Centre, Melbourne, Australia	Masato Nakayama, Yoichi Yamashita
60	矢野健一	マーク・ディオンー素材としての考古学	2014年8月	第2回 京都 Art & Archaeology フォーラム	渡辺裕穂
61	湯浅俊彦	障害者差別解消法と電子出版による読書アクセシビリティの保障	2014年5月	日本出版学会 2014 年度春季研究発表会 (國學院大学渋谷キャンパス)	—
62	川嶋將生	中近世被差別民の花押と官途名	2014年5月	世界人権問題研究センター第2部会, 京都市	—
63	Wataru Wakita, Hiromi T. Tanaka	Anisotropic Reflectance Rendering of Noh-Kimono Costumes in Dynamic Lighting Environments with Bonfire	2014年5月	Proceedings of the Fifth IEEE International Conference on Computational Photography (ICCP) 2014	Yasuhiro Nishiwaki, Shiro Tanaka
64	Wataru Wakita and Hiromi T. Tanaka	An Unconstrained Tactile Rendering with Tablet Device based on Time-series Haptic Sensing with Bilateral Control (Poster)	2014年8月	Proceeding of the ACM SIGGRAPH 2014	—
65	脇田航, 古川耕平, 八村広三郎, 田中弘美	反射光解析に基づく薪能における能装束の質感再現	2015年1月	情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (CVIM2015)	田中士郎
66	Liang Li, Kozaburo Hachimura	Retrieval of similar behavior data using kinect data	2014年10月	14th International Conference on Control, Automation and Systems, KINTEX, South Korea	Woong Choi, Kenta Sakurai
67	Liang Li, Kozaburo Hachimura	Similarity Retrieval of Motion Capture Data using Kinect Data	2014年11月	Fourth International Symposium on Technology for Sustainability, Taipei, Taiwan	Kenta Sakurai, Woong Cho

68	Liang Li, Kozaburo Hachimura	A molecular modeling system using hand gestures	2014年12月	SIGGRAPH Asia 2014, Shenzhen, China	Woong Choi, Kyosuke Tanaka, Satoshi Nakajima
69	石上阿希	【招待】パネルディスカッション 「社会とつながる近世文学」	2014年6月 1日	「日本近世文学学会平成26年度春季大会」、上 智大学、東京	小林ふみ子、福田 安典、ラウラ・モ レッティ
70	石上阿希	【招待】「春本・春画の読まれ方 —男の読書・女の読書」	2014年12月 6日	「国際シンポジウム 男たちの性愛—春本と 春画と—」、国文学研究資料館、立川市	—
71	石上阿希	【招待】「大英博物館春画展を受 けて—日本側のリアクション」	2014年12月 12日	「第284回日文研フォーラム」、ハートピア京 都、京都市	—
72	加茂瑞穂	型紙データベースと今後の展開に ついて	2014年5月	第10回DH拠点セミナー、衣笠キャンパス、 京都	—
73	加茂瑞穂	近代染織資料の保存と活用 —友 禅協会の図案を例として	2014年10月	シンポジウム「つたえる力 —京都の伝統工芸 —」、立命館朱雀キャンパス、京都	—
74	木村文則、前田 亮、赤間亮	役者評判記からの人物に関する表 現の自動抽出手法	2015年2月	第4回知識・芸術・文化情報学研究会	永井規善
75	木村文則、前田亮	言語が異なる浮世絵データベース 間における同一作品の同定手法の 提案	2015年3月	第77回情報処理学会全国大会	Biligsaikhan Batjargal、木村 泰典
76	木村文則、前田亮	オンライン百科事典を対象とした 日中言語間エンティティリンキン グ手法の提案 —適切な用語説明 ページの抽出手法—	2015年3月	第78回情報処理学会全国大会	宋翔、周佳良、堀 田健介
77	木村文則、前田亮	オンライン百科事典を対象とした 日中言語間エンティティリンキン グ手法の提案 —日本語文章中の 重要語の翻訳手法—	2015年3月	第79回情報処理学会全国大会	周佳良、宋翔、堀 田健介、木村文 則、前田亮
78	斎藤進也	「キューブ」による視覚的データ 管理とその情報デザインの考察	2014年7月 5日	日本デザイン学会第61回春季研究発表大会、 福井工業大学	—
79	斎藤進也	A Demonstration of a Visual Data Management System for Law and Psychology	2014年10月	East Asia Psychology Law Conference 2014, China University of Political Science and Law、北京	—
80	斎藤進也	データ視覚化技術を用いた法情報 の把握と整理	2014年10月 25日	法と心理学会 第15回大会、関西学院大学	—
81	斎藤進也	人文学データセットと視覚化ツ ール：各種データの俯瞰方法と変 量表現に着目して	2014年11月 5日	第13回デジタル・ヒューマニティーズ拠点セ ミナー、立命館大学	—
82	斎藤進也	視覚的アーカイブ管理手法に関す る考察と制作	2015年1月 17日	2014年度人間科学研究所年次総会	—
83	斎藤進也、福田一 史	データベースのゲームUI的視覚 化に関する研究	2015年3月	日本デジタルゲーム学会2014年度年次大会、 宮城大学	—
84	斎藤進也	Web-DBにおける視覚的操作支援 ツールの構築	2015年3月	第19回情報処理学会シンポジウム INTERACTION、日本未来館	—
85	Rumi Tokunaga	Interaction of color-defined and luminance-defined motion signals in human visual cortex	2014年5月	Vision Science Society, Florida, USA	Ichiro Kuriki, Hongfei Xie, Kazumichi

					Matsumiya, Satoshi Shioiri
86	徳永留美	人の顔色の色名と想起される色についての研究	2014年10月	法と心理学会, 関西学院大学	篠田博之
87	徳永留美	照明光の色の変化による液体の色知覚と透明感	2014年11月	立命館大学アトリサーチセンターデジタル・ヒューマニティーズ拠点セミナー, 立命館大学	—
88	徳永留美	人の顔色の色名と想起される色の対応について	2014年12月	第2回東京法と心理研究会, 成城大学	—
89	徳永留美	顔色のカラーネーミングと想起される色の一致度について	2014年12月	東北大学・電気通信研究所共同プロジェクト研究会「物体の表面属性の視知覚に関わる脳内メカニズムの研究」(共催:新学術領域「質感脳情報学」), 東北大学	篠田博之
90	徳永留美	目撃証言の顔の色の表現と想起される色についての研究	2015年1月	立命館大学人間科学研究年次総会, 立命館大学	篠田博之
91	徳永留美	クラスタ分析による日本語自由色名の最適カテゴリ数の検討	2015年1月	日本視覚学会冬期大会, 工学院大学新宿キャンパス	栗木一郎, 武藤ゆみ子, 福田一帆, Delwin T. Lindsey, Angela M. Brown, 内川恵二, 塩入 諭
92	福田一史	ゲーム保存研究のパースペクティブ-文献調査を通じて-	2015年3月	日本デジタルゲーム学会2014年次大会, 宮城大学	鎌田隼輔
93	福田一史, 中谷友樹, 細井浩一	地震災害に対する学生の防災意識と行動	2015年3月	2015年日本地理学会春季学術大会	米島万有子
94	前崎信也	【招待】 Chinese Art for Japanese Literati Culture in the Late Edo and Meiji Period	2014年5月	オックスフォード大学アジア考古学・美術・文化センター講演会, オックスフォード大学アジア考古学・美術・文化センター	—
95	前崎信也	【招待】 On the Role of the Kyoto City Ceramic Research Center (1896-1920) in Education for Taishō Era Ceramic Arts	2014年5月	セインズベリー日本藝術研究所(イギリス, イーストアングリア大学) 国際ワークショップ “Ceramics, Art, an Cultural Production in Modern Japan”, セインズベリー日本藝術研究所図書館	—
96	前崎信也	Tradition in Motion: Creating “Jakuchu” with Bamboo and Lacquer	2014年7月	第56回意匠学会大会, お茶の水女子大学	—
97	前崎信也	五条坂に残る登り窯の今: 産業廃棄物と文化遺産のはざままで	2015年3月	国際シンポジウム・シリーズ「つたえる力3」 京都の土と石—伝統工芸を支える資源—	—
98	山路正憲	人文系データベースの共同研究を管理するプラットフォーム構築について	2015年2月	第4回知識・芸術・文化情報学研究会	Batjargal Biligsaikhan
99	Masaaki Kidachi, Masako Yamamoto, and Keiko Suzuki	Yuzen Designs and Privacy (友禅図案とプライバシー)	2014年5月	“ Privacy and Surveillance in the Digital Age ” ,2nd Around the World ,Arts and Convocation Hall, University of Alberta (http://aroundtheworld.ualberta.ca)	—
100	山本真紗子	百貨店と研究者—中井宗太郎と高	2014年10月	京都大学人文科学研究所・「近代天皇制と社会」	—

		島屋図案事業を中心にー		班・研究例会発表、京都大学人文科学研究所	
101	山本真紗子	友禪を調べるー資料の掘り起しとその発信	2015年2月	国際シンポジウム「つたえる力2ー工芸研究とデジタル・ヒューマニティーズ」、立命館大学末川記念会館講義室、	ー
102	李増先	永禄五年一乗谷曲水宴詩歌ー本文の原型および序文の解釈についてー	2014年4月	和漢比較文学会・第213回例会、兵庫県・大手前大学	ー
103	李増先	資料の収集とその活用ーアート・リサーチセンターの事例ー	2014年6月	立命館大学日本文学会・第58回大会、京都府・立命館大学	ー
104	川内有子	『蜻蛉日記』における「物詣」考	2014年6月	立命館大学日本文学会大会、立命館大学	ー
105	川内有子	1955年のサイデンステッカー訳蜻蛉日記について (Concerning the 1955 Seidensticker Translation of Kagero Nikki)	2014年9月	国際研究集会 in Canada 日本古典文学の可能性と異文化の交響、プリティッシュコロロンビア大学 (カナダ)	ー
106	川内有子	『忠臣蔵』の翻訳ー日本人の今として、過去としてー	2014年11月	第38回国際日本文学研究集会、国文学研究資料館	ー
107	川内有子	ミットフォードとディキンズのアプローチー忠臣蔵イメージの転換期	2015年2月	Student Visiting Program、カ・フォスカリ大学	ー
108	Yuzuru Isoda	Increasing the local carrying capacity in mountainous communities in Sa Pa	2015年3月	A LEGATO Conference, Hotel Grand Zuri, Yogyakarta (Indonesia)	ー
109	大西秀紀	ニットー長時間レコードの桂春団治「らくだ」	2015年2月	大阪芸能懇話会、難波生涯学習センター、大阪市	ー
110	大西秀紀	SPレコードに聴く邦楽の近代化	2015年3月	研究プロジェクト「東アジア古典演劇の「伝統」と「近代」ー「伝統の相対化」と「文化」の動態把握の試みー」、国際高等研究所、京都府精華町	毛利三彌、天野文雄、内山美樹子、神山彰、中尾薫、恵阪悟、田草川みずき、重田みち、他
111	岡本隆明	名所が見える？東寺百合文書	2015年3月	国際京都学シンポジウム「いっぶくどうどすー名所記と宇治茶の世界ー」、京都市	ー
112	岡本隆明	東寺百合文書のこれからの利用について	2015年3月	東寺文書研究会 (第3期第20回)、京都市	ー
113	亀田和子	The Role of Taiga's Orchid Pavilion Imagery for the Edo-Period Literati Community	2015年2月	China in the Japanese Visual Imagination, College Art Association (CAA) Annual Conference, New York	Karen Fraser
114	亀田和子	Narrating Contemporary: The Orchid Pavilion Gathering Visual Tradition in Edo Japan	2015年1月	Joint ARC RITS - JRG HPU Research Workshop on Degrees of Narrativity in the Japanese Visual Tradition, Hawaii Pacific University	ー
115	倉橋正恵	国貞の役者選択についてー「当盛六花撰」「当盛十花撰」の場合ー	2014年11月	国際浮世学会 第19回秋期大会、学習院大学	ー
116	小出治都子	好まれるゲームキャラクターの顔ー「乙女ゲーム」からの考察	2014年10月	日本顔学会大会 (フォーラム顔学 2014)、昭和大学	尾鼻崇
117	佐古愛己	「摂関ー院政期における都市と権力構造ー天皇・上皇の移徙をめぐ	2014年10月4日	鷹陵史学会第23回年次研究大会 公開シンポジウム「動く王権と都市空間ー前近代東アジア	ー

		ってー」		の権力と都市ー」、佛敎大学	
118	八村広三郎、鹿内菜穂	ストリートダンスを対象としたピアエデュケーション支援システム	2014年9月	ヒューマンインタフェースシンポジウム2014、京都工芸繊維大学	長谷川聡、泉朋子、仲谷善雄
119	鹿内菜穂	幼児の二者対面状況における足踏み動作のタイミング調整	2015年3月	日本発育発達学会、日本大学	澤田美砂子、高橋まどか
120	瀬戸寿一	伊豆大島におけるクライシス・マッピングを通じた地理空間情報の参加型共有とその意義	2014年4月	日本地球惑星科学連合2014年大会	—
121	瀬戸寿一	地理空間情報分野における開発環境のソーシャル化に関する考察	2014年5月	日本地球惑星科学連合2014年大会	伊藤昌毅
122	瀬戸寿一	ヒト・モノの流れデータをめぐる国際動向—Open Dataを中心に—	2014年7月	人の流れ研究会拡大版	—
123	瀬戸寿一	【招待】地理空間情報に関するオープンデータ・クラウドマッピングの最新動向	2014年8月	日本リモートセンシング研究会	—
124	瀬戸寿一	ITコミュニティによる防災・減災に向けた地理空間情報を活用した取り組み	2014年11月	第23回地理情報システム学会研究発表大会特別セッション	—
125	瀬戸寿一	【招待】地理空間情報分野におけるオープンデータ化とその動向	2014年11月	第34回セマンティックウェブとオントロジー研究会	—
126	Toshikazu Seto	Collection and Utilization of Real-time Geographic Information for Road Management by Local Governments	2015年3月	The International Symposium on Cartography in Internet and Ubiquitous Environments 2015	Yoshihide Sekimoto, Yuki Fukushima*, Kenji Sato, Koichi Yag
127	土田勝、田中弘美	高分解能マルチバンドHDR画像解析に基づく織物の分光反射率推定	2014年12月	日本色彩学会 視覚情報基礎研究会 第22回研究発表会	田中士郎、高柳亜紀、坂口嘉之
128	土田勝、田中弘美	高分解能マルチバンドHDR画像を用いた織物の微小構造に基づく鏡面反射の色度解析	2015年1月	情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (CVIM2015)	田中士郎、高柳亜紀、坂口嘉之
129	Masaru Tsuchida, Hiromi T. Tanaka	Estimating Spectral Reflectance of Fabrics from High-Resolution Multi-band HDR Images	2015年1月	21st Japan-Korea Joint Workshop on Frontiers of Computer Vision (FCV2015)	Shiro Tanaka, Aki Takayanagi, Yoshiyuki Sakaguchi
130	日比谷孟俊	【招待】酒井抱一とその根岸での日々	2014年6月	第6回根岸文化フォーラム	—
131	日比谷孟俊	愛知県南知多町に残された元禄期江戸吉原に関する一次資料	2014年7月	第6回絵入本ワークショップ、同朋大学	山本親、服部仁、佐藤悟
132	日比谷孟俊	歌舞伎、天下祭、吉原俄の共通点と男芸者の役割	2014年12月	第7回絵入本ワークショップ、同志社大学	—
133	日比谷孟俊	【招待】江戸の吉原—理系が調べた先祖のビジネス—	2015年1月	東京銀座新ロータリークラブ第1273回宅話、東京都中央区	—
134	丸川雄三	東京文化財研究所アーカイブの発信および活用に関する研究提案	2014年7月	「ミュージアムと研究機関の協働による制作者情報の統合」第1回研究会、東京文化財研究所	—

135	丸川雄三	身装画像におけるモチーフの分析 と絵引の研究	2015年1月	第105回人文科学とコンピュータ研究発表 会、大阪国際大学守口キャンパス	—
136	丸川雄三	デジタルアーカイブズの楽しみー 文化遺産オンラインから実業史錦 絵絵引まで	2015年1月	第440回みんなくぜミナール、国立民族学博 物館	—
137	丸川雄三	制作者情報のデータ構造設計につ いて	2015年2月	「ミュージアムと研究機関の協働による制作 者情報の統合」第2回研究会、東京文化財研 究所	—
138	丸川雄三	【招待】 郵政博物館収蔵資料デー タベースの公開と文化遺産オンラ イン	2015年2月	第86回日本アートドキュメンテーション学会 研究会、郵政博物館	—
139	丸川雄三	研究資料のアーカイブズと文化遺 産オンラインの活用について	2015年2月	「文化資源デジタル・アーカイブズに関する ワークショップ(研究会)」第1回、国立民族 学博物館	—
140	BINCSIK Monika	Preserving Japanese Lacquer Techniques: Replicas, Copies, and Fakes	2014年4月 11日	Materiality in Japan Conference, Institute of Fine Arts, New York University	—
141	BINCSIK Monika	Design in Conversation: Kimono and Other Arts	2014年10月 20日	The Metropolitan Museum of Art, Scholar' s Day for Kimono: A Modern History exhibition	—
142	BINCSIK Monika	Scenes of Japanese Poetry and Prose: Representing Classics in Japanese Lacquer and Textile Art,	2014年11月 18日	Japanese Art Society of America, Marymount School	—
143	IEZZI Julie Ann	【招待】「能由来の歌舞伎とその 舞台表現を語る」	2015年3月 2日	GloPAC ワークショップ: “能と歌舞伎におけ る源平ストーリーの再表現” 衣笠キャンパス アートリサーチセンター	—
144	TINIOS Ellis	Publishers' catalogues (zōhan mokuroku) and the marketing of books in the Edo period: content, presentation and strategies	2014年8月 30日	European Association of Japanese Studies meeting Ljubljana, Slovenia	Dr Laura Moretti, Mr Christian Dunkel

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第9回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年4月	21名	
2	西川祐信雛形本研究会	衣笠キャンパス	2014年4月より毎 月1回	10名	
3	第10回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年5月	18名	
4	第3回 DH 拠点セミナー番外編	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年5月	20名	
5	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年5月	7名	
6	第11回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階	2014年6月	20名	

		多目的ルーム			
7	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年6月	7名	
8	第12回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年7月	18名	
9	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年7月	7名	
10	デジタル技術が生み出す新たな文化効果 — 洛中洛外図屏風 舟木本 編	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年7月	40名	
11	第十八回能装束・能面展 ～継承の美～	京都文化博物館 6階	2014年8月	-	
12	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年8月	7名	
13	風俗画研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室1、2	2014年8月	-	
14	HIROSHIGE. Da Edo a Kyoto: vedute celebri del Giappone.	Museum of Palazzo Grimani	2014年9月～2015 年1月	-	
15	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年9月	8名	
16	第13回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年11月	13名	
17	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2014年11月	-	
18	シンポジウム つたえるカ—京都の伝統 工芸—	朱雀キャンパス	2014年10月 13日	49名	
19	いろは忠臣蔵	アート・リサーチセンター1階 閲覧室	2014年12月	-	
20	第14回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年12月	16名	
21	『忠臣蔵』と日本人	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2014年12月	-	
22	Degrees of Narrativity in the Japanese Visual Tradition	Hawaii Pacific University	2015年1月	100名	ハワイ・パシフィック大学
23	第15回 DH 拠点セミナー	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2015年1月	10名	
24	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2015年1月	7名	
25	シンポジウム つたえるカ2 工芸研究 とデジタル・ヒューマニティーズ	衣笠キャンパス	2015年2月	43名	立命館大学文学部京都学専 攻
26	第4回「知識・芸術・文化情報学研究会」	アート・リサーチセンター3階 立命館大阪梅田キャンパス多 目的室	2015年2月	-	
27	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2015年2月	9名	
28	Workshop at the Weatherhead East Asian Institute, Columbia University	コロンビア大学 ウェザーヘ ッド東アジア研究所	2015年3月	40名	コロンビア大学

29	シンポジウム つたえる力3 京都の土と石ー伝統工芸を支える資源ー	キャンパスプラザ京都	2015年3月	50名	立命館大学文学部京都学専攻
30	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 全体カンファレンス	衣笠キャンパス	2015年3月	55名	
31	シンポジウム 日本と韓国の実験考古学と伝統工芸2、	朱雀キャンパス	2015年3月	15名	窯跡研究会
32	能と歌舞伎における源平ストーリーの再現	アート・リサーチセンター2階 多目的ルーム	2015年3月	-	
33	ひな形本研究会	アート・リサーチセンター3階 会議室2	2015年3月	-	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	赤間 亮	【講座】 デジタル・アーカイブの構築ーARCモデルの海外展開ー	朝日新聞大阪本社, 日本新聞協会「報道資料研究会」総会	2014年5月8日
2	赤間 亮	【講座】 住吉の伝説と浮世絵	住吉大社、住吉大社セミナー	2014年6月9日
3	赤間 亮	【講座】 Kabuki Theater and Yakusha- e Woodblock Prints	University of Zurich, Room RAK-E-8	2014年11月14日
4	赤間 亮	【講座】 浮世絵を読む 役者絵	立命館大阪キャンパス、立命館大阪オフィス講座	2014年11月19日
5	赤間 亮	【講座】 浮世絵を読む「浮世絵の歴史と種類ー海外の浮世絵コレクション紹介を兼ねてー」「浮世絵版画の技法ー摺師を迎えて浮世絵の技法を聞くー」「浮世絵を読むー浮世絵に描かれた伝説ー」	真無量院宗学、堂求道塾” 日本文学講座”	2014年11月25日～2015年1月19日
6	赤間 亮、川内 有子	いろは忠臣蔵展（含：デジタル展示）	立命館大学アート・リサーチセンター 閲覧室	2014年12月15日～2015年1月17日
7	赤間 亮	【講座】 Image Database and Digital Humanities	日仏大学会館、Joint Seminar Maison Universitaire France Japon - JSPS	2015年3月30日
8	稲葉光行	2014年度八幡子ども会議	八幡市ふるさと学習館、八幡市文化センター	2014年4月1日～2015年3月31日
9	木立雅朗	（報道発表）陶器製手榴弾 国内に配備 1944年から1年間、大量に生産 立命館大調査	読売新聞	2014年7月9日
10	木立雅朗	（報道発表）若沖の鶏 協業で着物に	読売新聞 京都版	2014年7月13日
11	木立雅朗	（報道発表）立命館大学と協働 伊藤若沖の図柄のきもの・帯を製作 ZONEきものデザイン研究所（東京）	染織新報	2014年7月26日
12	木立雅朗	（報道発表）京友禅の図案 デジタル化 明治～昭和の紙製原画を収集、後世に	日経新	2014年10月8日
13	木立雅朗	（報道発表）陶器製手榴弾 有田や波佐見など全国7カ所で生産 立命館大グループが調査	西日本新聞	2014年9月1日
14	木立雅朗	（講演会）登り窯 あれこれ	藤平陶芸、京都市	2015年3月12日

15	富田美香	色つきではなく色彩で：イーストマンカラーで求めた色彩	『NFC ニューズレター』114号	2014年4月1日～
16	鈴木桂子	パネル・ディスカッション「つたえる力ー京都の伝統工芸」	国際シンポジウム・シリーズ「つたえる力 2」 工芸研究とデジタル・ヒューマニティーズ	2015年2月
17	鈴木桂子	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点全体カンファレンス	日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点 全体カンファレンス	2015年3月
18	金子貴昭	(書評)永井一彰『板木は語る』笠間書院	図書新聞(3174号)	2014年9月
19	金子貴昭	板木デジタルアーカイブが切り開く出版研究の可能性	『文化情報学ハンドブックー情報メディア技術から「人」を探る』(勉誠出版、pp.67-71)	2014年11月
20	細井浩一、石上阿希	春画を見る、艶本を読む(仮想空間展示)	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館 (ARC/VM)」	～2014年7月30日
21	細井浩一	コンテンツ循環による地域とものづくりの再創造	「滋賀クリエイティブフェア 2015」滋賀県立県民交流センター	2014年10月1日
22	細井浩一、金子貴昭	多色摺木版画の版木-彫摺の技法(仮想空間展示)	SecondLife® SIM「立命館大学アート・リサーチセンター付属仮想博物館 (ARC/VM)」	～2015年12月15日
23	金子貴昭	(書評)永井一彰『板木は語る』笠間書院	図書新聞(3174号)	2014年9月
24		祇園祭デジタル・ミュージアム展	京都文化博物館	2014年7月
25	矢野健一	体験教室 道具を使わずに縄文の布を編もう	尾関清子寄贈資料受入記念講演会・体験教室「考古学・人類学からみた布と編みカゴ」	2014年12月
26	川嶋将生	【講演】鴨川の歴史的景観	鴨川府民会議	2014年6月
27	川嶋将生	【講演】中世の町と祇園祭	第35回京阪文化フォーラム	2014年6月
28	川嶋将生	『京都における歴史学の誕生』雑感	『GLOBE』78号	2014年7月
29	脇田航	「立体的」織物を視て触ってみよう!	『祇園祭デジタル・ミュージアム展』京都府京都文化博物館	2014年7月
30	脇田航	薪能における能装束の光と影のゆらめき再現	『祇園祭デジタル・ミュージアム展』京都府京都文化博物館	2014年7月
31	脇田航	大船鉾もCGで巡行 祇園祭をバーチャル体験	KBS 京都ニュース掲載	2014年7月23日
32	脇田航	150年ぶり復帰の大船鉾CG動画に 立命大教授が巡行再現	京都新聞掲載	2014年7月15日
33	石上阿希	エッセイ「古典文学と艶本」	『書物学』2号、勉誠社、pp.13-15	2014年6月
34	石上阿希	セカンドライフ展示「春画を見る・艶本を読む」	セカンドライフ内立命館大学敷地、 http://maps.secondlife.com/secondlife/rits%20gcoe%20jdh/158/56/23	2014年8月～
35	石上阿希	図録解説『岩崎コレクション～孔子から浮世絵まで』	東洋文庫ミュージアム、pp.18-21、24	2014年9月
36	石上阿希	コラム「応需ー春画・艶本の趣向」	「週刊読書人増刊号PONTO」、計2回掲載	2014年10月～2015年3月
37	石上阿希	序文『Shunga』	パイ・インターナショナル、pp.14-33	2014年11月
38	石上阿希	ラジオ「ミッドナイトセッション 春画」	『荻上チキ・Session-22』、TBS ラジオ	2014年11月10日
39	石上阿希	【招待】「春画のいまむかし」	「ジパン具 vol.7-SHUNGA-」、ギャラリーi、京都市	2014年11月15日
40	石上阿希	【招待】「江戸時代の春画・艶本～読み解くたのしみ～」	第12回大阪オフィス講座、立命館大学大阪オフィス、大阪	2014年11月26日

41	石上阿希	ラジオ『LOHAS TALK』	J-Wave	2014年12月1日～5日
42	石上阿希	【招待】「東洋文庫コレクションにみる浮世絵としての春画」	東洋文庫ミュージアム、東京	2014年12月7日
43	石上阿希	【招待】‘Enjoying Shunga: The Public Reception of Japanese Erotic Art, Past and Present’	Honolulu Museum of Art, Doris Duke Theatre, Hawaii	2015年2月6日
44	石上阿希	【招待】『北斎漫画』の表現	藤枝市郷土博物館、藤枝市	2015年3月8日
45	加茂瑞穂	型紙データベース	http://www.dh-jac.net/db1/stencil/about.php	2014年5月～
46	加茂瑞穂	株式会社キョーテック所蔵型紙の解説	< http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/GCOE/isek_ata/ > < http://www.kyolite.co.jp/katagami/ichimatsu.php >	2014年10月～
47	加茂瑞穂	図案データベース	http://www.dh-jac.net/db1/zuan/	2015年2月～
48	前崎信也	【招待講演】やきものに描かれた想い：文様と日本陶磁器	第17回清風研究会、姫路市立大塩公民館	2014年4月6日
49	前崎信也	【研究報告】近代京焼の登り窯	元藤平陶芸登り窯および跡地の保存・活用に関する検討会議、立命館大学朱雀キャンパス	2014年5月31日
50	前崎信也	【招待講演】アート&アーカイブ：日本文化デジタル化の現在	学習院大学国際研究教育機構主催デジタルアーカイブ講演会、学習院大学目白キャンパス中央研究等	2014年6月30日
51	前崎信也	【講演】平成の京焼・伝統の未来	京都陶磁器協会主催府市懇談会、京都陶磁器会館	2014年8月28日
52	前崎信也	【展覧会監修】姫路市書写の里・美術工芸館開館20周年特別企画展示「没後100年 大塩が生んだ京焼の名工 三代清風与平」展	姫路市書写の里・美術工芸館	2014年9月6日～10月5日
53	前崎信也	【招待講演】姫路が生んだ世界の清風	姫路市書写の里・美術工芸館	2014年9月15日
54	前崎信也	【企画展示】「三代清風與平没後100年記念 清風與平家 初代から四代」	京都陶磁器会館	2014年9月26日～10月8日
55	前崎信也	【招待ワークショップ】Shinya Maezaki, “Recreating Jakuchu”	サンフランシスコ・アジア美術館	2014年10月10日、11日
56	前崎信也	【招待講演】前崎信也「バーナード・リーチの窯を建てた男：窯業技師松林靄之助の生涯」	十二段家花見小路店	2015年3月12日
57	山本真紗子	【企画協力・パンフレット執筆・ワークショップ開催】「舞妓の美—花街を彩る匠の技」	ARTZONE、京都造形芸術大学	2014年5月3日～5月25日
58	山本真紗子	「京都」舞妓さんができるまで、着付師が実演」	朝日新聞 http://www.asahi.com/articles/ASG5564P3G55PLZB00M.html	2014年5月6日
59	山本真紗子	【企画運営】「分業から協業へ—大学が、若冲と京の伝統工芸を未来に繋げる—」	京都文化博物館別館ホール	2014年7月12日～13日
60	山本真紗子	立命館大学京都近代染織資料データベース作成	http://www.dh-jac.net/db1/yuzen/index.php	2014年10月～
61	山本真紗子	立命館大学京都近代染織資料データベースプロジェクト・ブログ	http://www.dh-jac.net/db15/yuzen2013/	2014年10月～
62	岩切友里子	【招待】歌川派の広重・国芳（講演会）	藤枝市郷土博物館・文学館	2015年3月

63	大西秀紀	【招待】京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所蔵の音声資料とアーカイブについて	国際シンポジウム「私たちは何を録音してきたのか～古音源の保存と活用～」神戸大学国際文化学研究所、神戸市	2015年3月20日
64	大西秀紀	【TV出演】国立国会図書館「歴史的音源」に関するコメンテーターとして	よみうりテレビ(10ch)「GOGO若一調査隊～”日本一の図書館”関西館に潜入!! 未来に遺される「歴史的音源」～」『かんさい情報ネット ten!』	2014年11月12日
65	亀田和子	ハワイにおける日本文化興隆運動について	KZ00 Radio 計3回放送	2015年1月20日、21日
66	亀田和子	中国と日本の文人美術	Hawaii Public Radio, The Conversation	2015年1月22日放送
67	倉橋正恵	日本の伝統芸能の魅力について～歌舞伎を中心に～	サイバー適塾第4回国際グローバル力養成講座	2014年9月17日
68	佐古愛己	佛教大学コミュニティキャンパス10周年企画公開講座:「語り継がれていく北野」第1回「平安貴族社会と神社行幸～北野行幸を中心に～」	佛教大学コミュニティキャンパス北野「ゆいま～る」	2014年10月22日
69	佐古愛己	京都アスニー「ゴールデン・エイジ・アカデミー」講座:「平安貴族社会の『雅』と実像～文学の世界 古記録の世界～」	京都市生涯学習総合センター	2014年11月14日
70	瀬戸寿一	地理空間情報分野におけるオープンデータ・オープンプラットフォーム	世界銀行パブリックセミナー	2014年6月9日
71	瀬戸寿一	G空間情報のオープン化・流通を支えるCKANプラットフォーム～アーバンデータチャレンジを事例に～	CKAN日本コミュニティミーティング	2014年6月19日
72	瀬戸寿一	地理空間情報のオープンな流通を支える技術と仕組み～アーバンデータチャレンジを事例に～	ジオメディアサミット in FOSS4G Hokkaido	2014年6月28日
73	瀬戸寿一	地図・地理情報を使って『防災・減災』をオープンに支える仕組み・仕掛け	Visions OSAKA 日韓防災マッピング・ミーティング	2014年11月9日
74	瀬戸寿一	G空間データの活用アイデアを市民から募る～アーバンデータチャレンジ2014～	CSIS 寄附研究部門第10回公開シンポジウム	2015年1月27日
75	瀬戸寿一	地域課題の解決にオープンデータを活用しよう!～アーバンデータチャレンジ2014における全国の地域拠点と水戸市での取り組み～	オープンデータ推進フォーラム in 水戸	2015年2月17日
76	瀬戸寿一	アーバンデータチャレンジ2014の1年間を振り返って～データの力を、まちの力に～	アーバンデータチャレンジ2014最終シンポジウム	2015年2月28日
77	竹内千代子	乙訓の俳諧文化	「第三回 古典の日制定記念文化講演会」長岡京市中央生涯学習センター(バンビオ)	2014年10月12日
78	竹内千代子	芭蕉と山科一山路のすみれ～	平成二六年度(後期)学びのフォーラム山科<古典の日特別企画>松尾芭蕉生誕三七〇年、京都市生涯学習総合センター山科	2014年11月5日
79	竹内千代子	『去来抄』先師評～去来をめぐる俳人たち～	「平成二六年度 綾部市古典文学講座」綾部市市民会館	2014年12月13日
80	土田勝	【展示協力】特別展「京みやこを描く～洛中洛外図の時代～」	京都文化博物館	2015年3月～2015年4月
81	丸川雄三	「集めてみました世界の〇〇」執筆・編集(ポット編、揺りかご編、ゲーム編、帽子編)	月刊みんぱく、計4回掲載	2014年4月～7月

82	丸川雄三	人間学のキーワード「ビッグデータ」	月刊みんぱく	2014年7月
83	丸川雄三	旅・いろいろ地球人一組織(2)「博物館は地域の「顔」	毎日新聞(夕刊)	2014年10月2日
84	丸茂美恵子	国立劇場主催舞踊公演「動物のいる風景」演目解説/出演者・演奏者紹介	国立劇場大劇場	2014年5月
85	丸茂美恵子	日本芸術院 会員記録映像 第三部 第十五分科 花柳壽輔氏との対談、DVD収録	日本芸術院	2014年6月
86	丸茂美恵子	につぼんの芸能 ゲスト解説	NHKEテレ 計3回掲載(再放送3回)	2014年6月～11月
87	丸茂美恵子	西川流家伝書『松竹梅』(共著)	西川流宗家	2014年8月
88	丸茂美恵子	NHK 古典芸能鑑賞会演目解説「連獅子」	NHK ホール	2014年10月
89	矢野明子	報告「日本の春画をイギリスはどう見たか」	第284回日文研フォーラム、京都市	2014年12月12日
90	矢野明子	コメンテータ「江戸時代にみるユーモア、パロディ、タブー-浮世絵と春画の社会的意義」	国際文化会館、東京都港区	2015年2月12日
91	IEZZI Julie Ann	『狐火』の語り	関西常磐津協会 第19回「ときわぎの会」、大坂文楽劇場小ホール	2015年1月25日
92	TINIOS Ellis	Workshop: Early modern written Japanese	Immanuel College, Cambridge (UK) with Dr Laura Moretti	2013年8月9日
93	TINIOS Ellis	Workshop: Japanese illustrated books of the Edo period.	University of Southern California (Los Angeles)	2014年2月13～14日
94	TINIOS Ellis	Workshop: Japanese textual scholarship	Immanuel College, Cambridge (UK) with Dr Laura Moretti	2014年3月19～21日

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	田中 覚	可視化情報学会	第42回可視化情報シンポジウム・アートコンテスト「大賞」	粒子ベースレンダリングを用いた松が峰教会の半透明レンダリング	2014年7月
2	前田 亮	第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2015)	学生プレゼンテーション賞	図形群の意味と階層構造を用いたプレゼンテーションスライド検索システムの提案	2015年3月
3	前田 亮	第7回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2015)	学生プレゼンテーション賞	Wikipedia 記事の言語間差異抽出手法の提案	2015年3月
4	金子貴昭	日本出版学会	第35回日本出版学会賞奨励賞	『近世出版の板木研究』	2014年5月
5	中谷友樹	ESRI ジャパン株式会社	「第10回GISコミュニティフォーラム」マップ・ギャラリーコンテスト1位	あなたの名前をみつけれられますか	2014年6月
6	鹿内菜穂	IICST2014, Innovations in Information and Communication Science and Technology	Innovation Prize	The Effects of the Presence of an Audience on the Emotions and Movements of Dancers	2014年9月
7	瀬戸寿一	地理情報システム学会	2014年度学会賞	ソフトウェア・データ部門	2014年11月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	矢野桂司	地理的剥奪指標に基づく近隣健康格差の分析	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担
2	矢野桂司	多様な主体による参加型GISの構築と応用に関する研究	基盤研究(A)	2013年4月	2016年3月	分担
3	矢野桂司	GISベースの日本版センサス地理学の確立とその応用に関する研究	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	代表
4	赤間 亮	在欧州絵入版本・浮世絵のカタログング	基盤研究(B)	2012年4月	2017年3月	代表
5	稲葉光行	メタバースを利用した日本文化に関する「状況学習」の支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2010年4月	2015年3月	代表
6	田中 覚	3次元点群を利用した、大規模計測データの精密な半透明可視化・融合可視化	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
7	富田美香	撮影監督宮川一夫アーカイブ・プロジェクト	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
8	前田 亮	多言語デジタルアーカイブの統合検索に関する研究	基盤研究(C)	2012年4月	2016年3月	代表
9	八村広三郎	文化芸術活動における身体動作と集団行動のデジタルアーカイブと解析・表現技法の開発	基盤研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
10	八村広三郎	舞踊動作モーションキャプチャデータベース	研究成果公開促進費	2014年4月	2015年3月	代表
11	金子貴昭	板木を核とした出版記録の再読解と出版記録データベースの構築	若手研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
12	河角龍典	ジオアーケオロジーと地理情報システムによる水辺の都市の古環境復原と災害史構築	基盤研究(C)	2013年4月	2016年3月	代表
13	西浦敬信	フレキシブルパラメトリックスピーカを用いた3D音像ホログラムの総合開発	基盤研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
14	湯浅俊彦	高等教育機関における障害者の読書アクセシビリティの向上：ICTによる図書館の活用	基盤研究(B)	2013年4月	2016年3月	分担
15	THAWONMAS Ruck	メタバースとそのソーシャルネットワークのための体験支援	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
16	脇田航	触力覚に基づく技能伝承のための仮想実地訓練環境の構築	基盤研究(A)	2012年4月	2015年3月	分担
17	脇田航	バイラテラル制御による手技工程解析に基づく時系列触知覚パラメータの抽出	基盤研究(C)	2013年4月1日	2016年3月	代表
18	脇田航	マイクロレベルの分光画像計測による織物の光学特性の解析	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担
19	石上阿希	18世紀上方・江戸における出版と都市文化の関連性-西川祐信を中心として-	若手研究(B)	2014年4月	2018年3月	代表
20	木村文則	古典資料に対するテキストマイニングおよびその分析結果の可視化に関する研究	若手研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
21	徳永留美	空間の明るさと影の知覚に基づいた明度知覚モデルの構築	若手研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
22	徳永留美	視覚特徴要素信号の脳内でのフローに関する研究	基盤研究(B)	2013年4月	2015年3月	分担
23	前崎信也	大正期の九谷焼に関する研究	若手研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
24	山本真紗子	近代美術史における京阪神の百貨店美術部の活動の位置付とその役割	特別研究員奨励費	2013年4月	2016年3月	代表

25	大西秀紀	東洋蓄音器(オリエントレコード)の社史調査とディスクグラフィの作成	基盤研究(C)	2012年4月	2016年3月	代表
26	倉橋正恵	近世文化形成における歌舞伎興行と出版活動の連動についての基礎研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表
27	小出治都子	袴の機能性研究—世界に発信する”HAKAMA is cool”—	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	協力
28	瀬戸寿一	東日本大震災におけるカウンターマッピングに関する地理学的研究	基盤研究(C)	2012年4月	2015年3月	分担
29	瀬戸寿一	ボランティア地理情報の特性評価と共有手法に関する研究	若手研究(B)	2013年4月	2016年3月	代表
30	瀬戸寿一	多様な主体による参加型GISの構築と応用に関する研究	基盤研究(A)	2013年4月	2017年3月	分担
31	瀬戸寿一	クラウドソーシング技術を駆使した迅速・安価なグローバル現地計測手法の体系化	挑戦的萌芽研究	2011年4月	2016年3月	分担
32	丸川雄三	ミュージアムと研究機関の協働による制作者情報の統合	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
33	丸川雄三	近代日本の身装画像デジタルアーカイブの構築—文化変容に視点を据えて	基盤研究(B)	2012年4月	2015年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	矢野桂司	大規模京町家のアーカイブに関する調査研究	住総研2014年度研究助成	2014年4月	2016年3月	主査
3	木立雅朗	京都における工芸文化の総合研究	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2010年	2014年	代表
2	前田 亮	白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果	三菱財団法人人文科学研究助成	2014年10月	2016年9月	分担
4	徳永留美	素材と照明光の変化に伴う磁器の白色感が与える価値評価への影響	立命館大学2014年度高度研究推進プログラム若手研究	2014年7月	2015年3月	代表
5	前崎信也	美術展覧会という外交—1935年にロンドンの王立芸術院で開催された大中国美術展と日本—	鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成	2014年7月	2015年5月	代表
6	山本真紗子	京都の伝統工芸 「分業」の現在と課題	立命館大学「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」2014年度 若手研究者助成金	2014年4月	2015年1月	代表
7	山本真紗子	デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用	立命館大学 日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点・2014年度共同研究(個別テーマ型)	2014年9月	2015年3月	研究分担者
8	亀田和子	画題に関する研究会	Society of Asian Art of Hawaii Grant for academic event	2015年1月	2015年1月	分担
9	瀬戸寿一	電子納品データのサステナブルな流通環境の整備・実証(フェーズ2)	日本建設情報総合センター 社会基盤情報標準化委員会小委員会助成	2014年6月	2015年5月	分担者
10	瀬戸寿一	G空間プラットフォームにおけるリアルタイム情報の利活用技術に関する研究開発	総務省G空間プラットフォームにおけるリアルタイム情報の利活用技術に関する研究開発	2014年6月	2016年3月	分担者
11	瀬戸寿一	オープン・スマートシティを実現するソーシャル・ビッグデータ利活用・還流基盤	情報通信研究機構ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発	2014年7月	2016年3月	分担者

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1								

以上